

ROOF PAINT

ルーフペイントシリーズ
(ラジカル制御タイプ)

ROCK PAINT

住宅用化粧スレート・セメント瓦
金属系屋根材・乾式コンクリート瓦

ROOF PAINT シリーズ

製品ラインナップ



ロックリアクターコートルーフ
(超低汚染リアルハイブリッド無機系塗料)



サンフロンルーフ
(弱溶剤2液型4フッ化フッ素樹脂屋根用塗料)



ハイパーユメロックルーフ
(弱溶剤2液型リアルハイブリッドシリコン樹脂屋根用塗料)



1液ユメロックルーフ
(弱溶剤1液架橋型リアルハイブリッドシリコン樹脂屋根用塗料)

ルーフペイントシリーズ特長

高耐久性・高耐候性
(ラジカル制御)

シロキサン結合による強固な塗膜のロックリアクターコートをはじめ、紫外線により発生するラジカル(劣化因子)をHALS(光安定剤)と特殊コーティングチタン顔料によって無効化し、塗膜の劣化する速度を緩和します。

高光沢・仕上がり性

レベリング性を向上させ塗装しやすく、高級感のある美しい仕上がりを得られます。

防藻・防カビ性

各製品、強力な防藻・防カビ剤が配合されていますので、藻やカビの発生を抑制し、長期にわたり清潔な住環境を保ちます。

調色対応

各製品の標準色に加え、お客様のご要望に沿った色調をご提供します。
対応製品：ロックリアクターコートルーフ、サンフロンルーフ
ハイパーユメロックルーフ



屋根部は太陽光が発している紫外線(UV)、雨、雪、霜などの自然現象を直接受ける最も厳しい環境に曝され、建物の中では外壁以上に傷みやすい部分です。近年は地上に到達する有害な紫外線が増加傾向にあり、屋根部も高耐久性・高耐候性の塗料が求められています。

「ルーフペイントシリーズ」では高耐候性・高紫外線カット機能を追及したハイグレードな製品をラインナップし、様々な屋根材を長期的に保護します。

屋根材別 推奨下塗り

●住宅用化粧スレート・セメント瓦

- ・ハイパーシーラーエポ
- ・ハイパーシーラーアクア
- ・エポシーラーマルチ
- ・ロック水性プロテクトルーフ サフ
- ・ロック水性プロテクトルーフ シーラー

●金属系屋根材

- ・2液型サビカット
- ・サビカットII
- ・ハイプライマーアクア

●乾式コンクリート瓦【洋瓦】

- (・ハイパーシーラーエポ(透明のみ))

※詳細な使用方法は「標準塗装仕様書」
各々のカタログをご参照ください。

標準塗装仕様

■ 住宅用化粧スレート、セメント瓦

工程	塗料名	塗装回数	標準塗付量 (kg/m ² ・回)	希釈剤	配合比	塗装方法・希釈率(%)	塗り重ね可能時間 (23°C)		
下地調整	高圧洗浄により、ゴミ、汚れ、こけ、カビなどを完全に除去する。高圧洗浄できない場合は、ホースで水を流しながらデッキブラシ、ワイヤーブラシなどで入念に除去する。旧塗膜ではがれ部分、ふくれ部分はケレン具を用いて完全に除去し、乾燥させて清浄な面とする。								
下塗り	ハイパーシーラーエポ	1~2 ^{注)}	0.08~0.13	塗料用シンナー	主剤：硬化剤=5：1	ハケ・ローラー：0（通常不要） エアレス：0（通常不要）	4時間以上7日以内		
	エポシーラーマルチ		0.08~0.10				3時間以上		
	ハイパーシーラーアクア		0.08~0.13				4時間以上		
	ロック水性プロテクトルーフ サフ	1	0.3~0.8	水	主剤：硬化剤=14：1	ハケ・ローラー：0~10 エアレス：0~10	3時間以上		
上塗り	無機系	2	0.14~0.16	塗料用シンナー	主剤：硬化剤=5：1	ハケ・ローラー：0~20 エアレス：0~20	3時間以上5日以内		
	フッ素系							ロックリアクターコートルーフ	主剤：硬化剤=9：1
	シリコン系 (弱溶剤2液)						サンフロンルーフ	主剤：硬化剤=9：1	2時間以上
	シリコン系 (弱溶剤1液)						ハイパーユメロックルーフ	主剤：硬化剤=9：1	
シリコン系 (弱溶剤1液)	1液ユメロックルーフ	—	—	—	—	—			
縁切り	水切り部で瓦が重なった部分は、皮スキなどで塗料除去、縁切りを行う。								

- 下塗りは上記の他にユメロックシーラー（弱溶剤2液タイプ）使用できます。
 - 軽度な不陸がある場合、セメント瓦にはロック水性プロテクトルーフ サフを塗装してください。
 - 上塗りにロックリアクターコートルーフを使用する場合、エポシーラーマルチは下塗りに使用できません。
- 注) 各種シーラーで劣化した吸い込みの激しい素材の場合は2回塗りを行ってください。

■ 金属系屋根(ガルバリウム鋼板・トタンなど)

工程	塗料名	塗装回数	標準塗付量 (kg/m ² ・回)	希釈剤	配合比	塗装方法・希釈率(%)	塗り重ね可能時間 (23°C)		
下地調整	旧塗膜ではがれかかった部分、ふくれ、さび発生部分などは電動工具を主体に皮スキ、金属ワイヤーブラシなどでケレン具で完全に除去する。チョーキングしたところ、ゴミ、汚れなどはサンドペーパーなどで除去した後、高圧洗浄を行い、乾燥させて清浄な面とする。								
下塗り	2液型サビカット	1	0.13~0.15	塗料用シンナー	主剤：硬化剤=9：1	ハケ・ローラー：0~5 エアレス：5~10	4時間以上7日以内		
	サビカットII		0.12~0.14					—	ハケ・ローラー：0~10 エアレス：10~20
上塗り	無機系	2	0.14~0.16	塗料用シンナー	主剤：硬化剤=5：1	ハケ・ローラー：0~20 エアレス：0~20	3時間以上5日以内		
	フッ素系							ロックリアクターコートルーフ	主剤：硬化剤=9：1
	シリコン系 (弱溶剤2液)						サンフロンルーフ	主剤：硬化剤=9：1	2時間以上
	シリコン系 (弱溶剤1液)						ハイパーユメロックルーフ	主剤：硬化剤=9：1	
シリコン系 (弱溶剤1液)	1液ユメロックルーフ	—	—	—	—	—			

- 亜鉛でキラキラ輝く鋼材やオイル処理をしたもの及び非鉄金属の種類によって付着しない場合がありますので、試し塗りをしてご確認ください。
- 下塗りは上記の他にサビカットプラス（弱溶剤1液タイプ）、ハイプライマーアクア（水性2液タイプ）も使用できます。

■ 乾式コンクリート瓦【洋瓦】(モニエル瓦・スカンジア瓦)

工程	塗料名	塗装回数	標準塗付量 (kg/m ² ・回)	希釈剤	配合比	塗装方法・希釈率(%)	塗り重ね可能時間 (23°C)		
下地調整	高圧洗浄後、デッキブラシ等を用いて脆弱な着色スラリー層、汚れ、異物を完全に除去。 ※高圧洗浄の水圧は12MPa(120kgf/cm ²)以上/乾燥させて清浄な面とする。								
下塗り	ハイパーシーラーエポ (透明)	2	0.08~0.13	塗料用シンナー	主剤：硬化剤=5：1	ハケ・ローラー：0（通常不要） エアレス：0（通常不要）	4時間以上7日以内		
上塗り	無機系	2	0.14~0.16	塗料用シンナー	主剤：硬化剤=5：1	ハケ・ローラー：0~20 エアレス：0~20	3時間以上5日以内		
	フッ素系							ロックリアクターコートルーフ	主剤：硬化剤=9：1
	シリコン系 (弱溶剤2液)						サンフロンルーフ	主剤：硬化剤=9：1	2時間以上
	シリコン系 (弱溶剤1液)						ハイパーユメロックルーフ	主剤：硬化剤=9：1	
シリコン系 (弱溶剤1液)	1液ユメロックルーフ	—	—	—	—	—			

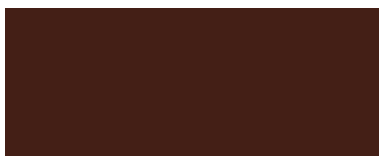
- ハイパーシーラーエポは「塗れ感になるまで」を目安に塗装してください。
- ハイパーシーラーエポはクリアータイプのみ使用可能となります。
- シーラー乾燥後、ガムテープを用いて付着力の確認を行い、スラリー層がガムテープに付着する場合は、再度シーラーを塗装してください。

屋根用標準色

ロックリアクターコートルーフ・サンフロンルーフ
ハイパーユメロックルーフ・1液ユメロックルーフ



↑ロイヤルレッド



↑チョコレート



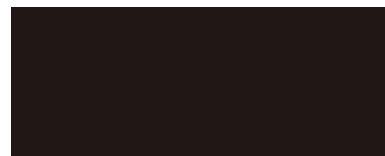
↑新コーヒーブラウン



↑新ブラウン



↑ココアブラウン



↑ダークブラウン ※



↑エバーグリーン ※



↑ニューモスグリーン ※



↑ノアール



↑ナイスブルー ※



↑ライトブルー ※



↑ナスコン ※



↑ねずみいろ



↑グレー



↑アイアングレー



↑ブラック

屋根用メタリック標準色

ハイパーユメロックルーフ・1液ユメロックルーフ



↑銀黒A



↑銀黒B



↑銀黒C



↑シルバー ※

※印の色の価格は割高となります。

- 銀黒A・B・C・シルバーはハイパーユメロックルーフ、1液ユメロックルーフのみの設定です。平滑面にハケやローラーで塗装すると、つやむらやメタリックむらが目立つことがありますのでご注意ください。エアレスなどで塗装すると美しく仕上がります。
- この見本帳は紙に塗装されていますので、実際の塗料に比べ色・つやに差異があります。色彩については塗り板等で確認してからご注文ください。
- 広い面積を塗装する実際の現場施工の場合、色・つやが見本帳と異なって見える場合があります。
- 色見本は保管条件、保管期間により、少しずつ変化していくおそれがありますので、有効期限(2026年5月)を守ってください。



■ 製品別 比較表

	ロック トタンペイント 1000番級	アクリル系 屋根塗料 (一般塗料)	ウレタン系 屋根塗料 (一般塗料)	1液 ユメロック ルーフ	ハイパー ユメロック ルーフ	サンフロン ルーフ	ロック リアクターコート ルーフ
樹脂系	合成樹脂	アクリル	ウレタン	シリコン	シリコン	フッ素	無機
ラジカル制御*	—	当社該当 製品無し	当社該当 製品無し	●	●	●	●
調色対応	—			—	●	●	●
耐久グレード ライフサイクルコスト (長期修繕費用)							

●……対応 —……非対応

※ラジカル制御とは、紫外線等によって発生する劣化因子(ラジカル)を無効化させる機能を有しています。
耐久グレードの高い塗料は塗り替え回数を減らせることから、建物維持にかかわる長期的な費用の低減化が図れます。

ROCK ルーフペイントシリーズ 常備色一覧表

色名	1液ユメロック ルーフ	ハイパー ユメロック ルーフ	サンフロン ルーフ	ロック リアクターコート ルーフ
ブラック	●	●	●	
銀黒A	●	●	調色不可	調色不可
銀黒B	●	●	調色不可	調色不可
銀黒C	●	●	調色不可	調色不可
ダークブラウン	●	●	●	
グレー	●	●		
シルバー	●	●	調色不可	調色不可
ナイスブルー	●	●	●	
アイアングレー	●	●		
ココアブラウン	●	●	●	
チョコレート	●	●		

色名	1液ユメロック ルーフ	ハイパー ユメロック ルーフ	サンフロン ルーフ	ロック リアクターコート ルーフ
新コーヒーブラウン	●	●	●	
エバーグリーン	●	●		
ねずみいろ	●	●		
ライトブルー	●	●		
ナスコン	●	●	●	
ロイヤルレッド	●	●		
新ブラウン	●	●	●	
ノアール	●	●	●	
ニューモスグリーン	●	●		

(注) ロックリアクターコートルーフは全て調色となります。

施工上の注意事項

- 塗料は全体をよくかき混ぜ、均一にしてください。
- 気温が低いときや、湿度が高い場合には、完全な塗膜ができにくく十分な性能を発揮できませんので、気温5℃以下、湿度85%以上の塗装は避けてください。
- 降雨、降雪、強風などの場合、または天候不良が予測される時は外部の塗装は避けてください。
- 絶えず結露が発生するような場所、用途での使用は避けてください。
- 素地の直射日光などで極端に熱くなっているときは、塗装を避け、少し冷えてから塗装してください。
- 塗る面のゴミ、かび、こけ、さび、砂、枯葉などの汚れや、はがれかかった塗膜はよく取り除いてください。
- 水性の塗料で塗り替える場合、さびの削りカス(さび、鉄くず)は完全に除去してください。塗り替え後、さびの発生の原因となります。
- エアレス塗装する場合は、塗装ミストによる汚染防止のために十分な養生を行ってください。
- 乾燥過程で霜、夜露などの影響を受ける時間帯や、昼と夜の温度差が大きい時は、結露による剥離け現象がおこる場合があるため、時間を考慮して塗装を行ってください。
- トタン板などで亜鉛メッキの目付量が多い場合には、下塗り塗料との密着が悪くなる場合があります。新しいトタン板に塗装する場合は、3~4ヶ月屋外放置後表面の光沢がなくなってから塗装してください。
- トタンの折り曲げ部分、継ぎ目部分などは、膜厚が十分得られない場合がありますので、先に拾い塗りすることをお勧めします。
- 塗装時は、高いところから降り口を確保しながら塗装してください。塗りたての面は滑りやすいので、絶対に乗らないでください。塗り残しがあった場合も乾燥後に補修塗りを行ってください。
- 作業時の安全には十分注意し、高所で作業する場合は安全ロープをかけて行ってください。
- 硬化剤は必ず専用硬化剤を使用してください。他の硬化剤を使用すると仕上がりが粗粒、塗膜性能に悪影響を及ぼします。
- 2液型サビカット、ハイパーシーラーエポ硬化剤は、アミンブリード性の少ない主剤との相溶性にすぐれたアダクトタイプですが、施工時および硬化するまでの間、低温(5℃以下)になる所での使用はできません。
- 希釈には必ず指定のシンナーを使用してください。指定以外のシンナーを使用すると、塗料中の樹脂が破壊されて使用できなくなります。また、必要以上に希釈するとタレや色分けの原因になります。
- ハイパーユメロックス、サンフロムルーフおよびロックリアクターコートルーフの塗料液と硬化剤には、湿気と反応する成分が含まれています。貯蔵の際は密栓し冷暗所に保存してください。また、開栓後はできるだけ早くにご使用ください。水・アルコール系の溶剤の混入は絶対に避けてください。
- ハイパーユメロックス、サンフロムルーフおよびロックリアクターコートルーフの硬化剤はイソシアネート系化合物を含んでいるため、吸引すると鼻、喉、気管支などに障害を起こすおそれがあります。特に換気に注意し適切なマスクを着用して作業を行ってください。過去にアレルギー症状を経験している人は取扱わないでください。
- 2液型塗料を使用する場合、主剤と硬化剤の配合比は必ず守り、可使時間内に使い切ってください。また高温時は可使時間が短くなるため注意してください。
- 夏場(高温下)では硬化反応が著しく速まるため、塗り重ね間隔はあまり日数を置かず実施してください。塗り重ね時間が過ぎると、層間で密着性が低下します。塗装間隔があく場合は再び下塗りを塗装するか、ペーパーがけを実施してください。
- ハイパーユメロックス、サンフロムルーフの低温時(10℃以下)塗装では、硬化剤との反応が遅くなるため、硬化前の降雨、結露などにより塗膜不良を生じる場合があります。
- 塗装作業中および塗膜を乾燥させる際には、十分に換気を行ってください。
- 改修塗装の場合、素地の種類や下地処理方法によって塗膜不良となる事があります。あらかじめ適切な処理を行い試し塗りすることをお勧めします。
- 標準塗付量はハケ、ローラーの場合の値で、塗装時の口スを考慮に入れた数値です。塗装方法、被塗物の形状、環境などによって増減する場合があります。
- 塗り重ね可能時間(乾燥時間)は塗装現場の温度、湿度、風通し、素地の状態などにより、多少変わります。
- 各工程の塗装間隔や塗付量、希釈量を守らなかった場合、塗膜不良となることがあります。また各工程において、当社指定以外の材料を使用した場合は、十分な性能が得られないことがあります。

- 弱溶剤型塗料に使用した塗装用具の洗浄にはラッカーシンナーを使用してください。
- 溶接接合部や下塗りにキズがある場合は、その部分が塗膜不良となりやすいので、素地調整後下塗り塗料(サビ止め塗料)で補修塗装を行ってから下塗り塗装してください。
- 補修部分が目立つことがありますので、補修塗りの場合は同一ロットの塗料を使用し、同一の塗装方法を、希釈割合で行ってください。
- 塗装方法により多少色相が異なることがありますので、入り隅のハケ・ローラー・罫目はできるだけ奥までローラー塗装してください。
- 作業効率の低下および塗りムラの原因になるため、スプレーノズルの先端は、時々洗浄してください。
- シーリング材などに塗装する場合、シーリング材の種類、劣化度により付着不良、収縮われなどを起こしたり、表面が汚れたりすることがあります。状況によっては、シーリング材用プライマー「ロックノンタックプライマーS」を塗装してください。塗膜の汚染・剥離はがれ・割れの低減が図れますが、シーリング材の種類によっては汚れ、付着不良が発生する場合がありますので試し塗りをすることをお勧めします。なお、ノンブリードタイプのシーリング材に「ロックノンタックプライマーS」は塗装しないでください。
- エマルジョンパテの外部での使用は避けてください。
- シーラー類や上塗り塗料には防錆性がありませんので、棟など金属製でできている部分が錆びている場合、錆などを除去、ケレンし、適性のサビ止めを下塗り後、上塗り塗装を実施してください。
- シーラー塗装後、塗装仕様の塗り重ね可能時間よりも早く上塗り塗装を行うと、ちぢみ、ひび割れ、塗膜不良を起こすおそれがありますので、塗り重ね可能時間を守ってください。
- 下塗り乾燥後、素地との付着性をガムテープなどで確認し、はがれが認められる場合は再度下塗り塗装を実施してください。
- 新屋根材などで素地に軽度の不陸がある場合は、下地調整材として「ロック水性プロテクトルーフ サフ」を使用してください。
- 新屋根材などで塗装後水切り部で瓦が重なり合った部分に塗料が付着していると漏れの原因となりますので、必ず皮スキなどを用いて塗料の除去と縁切りを行ってください。
- 露出している瓦の素地が脆弱な場合は、剥離の原因となりますので塗装しないでください。(瓦の張り替えをお勧めします。)
- 防藻・防カビ効果は繁殖を抑制するため、既に発生している被塗面には、下地処理として除去および防藻・防カビ処理剤などで殺菌処理した後、塗装してください。
- 塗り替えた塗膜は以前の塗膜と比較して、光沢、平滑性が向上し一般的に滑りやすい傾向にあります。塗装後の屋根上での作業には十分注意してください。
- 冬期においては、屋根上の雪が滑りやすくなることと想定されます。安全確認を行い、屋根に滑り止めなどの付帯設備を設置するなど対策を取ることをお勧めします。
- 1液ユメロックス、サビカットプラス及びサビカットIIIはスプレーダストや製品に付いた紙、布、ローラーなどが積み重なると自然発火のおそれがありますので、廃棄するまで水に浸けてください。
- 水性塗料に使用するハケ、ローラーなどの塗装用具は水性用を使用し、用具や手に付いた塗料は使用後できるだけ早く水で洗い落してください。
- ロック水性プロテクトルーフ シーラーやハイパーシーラーアクアと他の水性塗料は互いに混合すると、ゲル化して使用できなくなります。また、塗装用具の共用も避けてください。
- ロック水性プロテクトルーフ シーラーやハイパーシーラーアクアのさび缶にはプラスチック容器を使用してください。金属類はさびが発生するおそれがあります。
- 乾式コンクリート瓦(モニエル瓦、スカンジヤ瓦)の下塗りはハイパーシーラーエポ(透明)を塗装してください。ハイパーシーラーエポ ホワイトは塗装できませんのでご注意ください。
- 粘土瓦(いしぶ瓦、軸葉瓦)、アスファルトシングル材には塗装できません。
- 無機系、フッ素系などで処理した住宅用化粧スレート(新屋根材)には、下塗りにハイパーシーラーエポを使用してください。
- 見本帳に記載していない素地や塗装方法、工程で施工する場合、塗膜不良を起こすことがありますので、使用する前に最寄の営業所にお問い合わせください。
- 下塗り塗料などの詳細な使用方法については、それぞれのカタログをご参照ください。
- 引火性の危険物および健康に有害な有機溶剤などを含有していますので、製品容器の注意書きおよび安全データシート(SDS)をよく読み、注意事項を厳守してください。

安全衛生上及び取扱上の注意

【製品の危険・有害性】

- 引火性の液体である。
- 溶剤蒸気を吸入すると有機溶剤中毒になるおそれがある。
- 目、皮膚、粘膜などに対し刺激性がある。
- 汚れたウエスをまとめて置いたり、スプレーダストなどがたまってくると発熱し、自然発火のおそれがある。(1液弱溶剤型塗料)

【救急処置】

- 目に入った場合は直ちに多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合は、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 蒸気、ガスなどを吸い込んだり、塗料が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けてください。
- 皮膚に付着した場合には、多量の水で洗い落とす、痛みまたは外観に変化のあるときは医師の診察を受けてください。

【取扱注意事項】

- 取扱は引火源のないところで、特に静電気が発生するような衣服の着用や取扱はさけてください。
- 溶剤蒸気やスプレーダストを吸引しないように、必要に応じて有機ガス用防毒マスクまたは送気マスクなどの適切な保護具を着用してください。

- 使用済みウエス、塗料かす、スプレーダストなどは、発熱し自然発火のおそれがあるため、廃棄するまで水をはった容器に保管してください。
- 火災時には炭酸ガス、泡または粉末消火器を用いてください。
- 取扱作業所には、局所排気装置を設け、塗装時および乾燥時には十分換気を行ってください。
- できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて保護めがね、保護手袋(耐溶剤性)、長袖作業着などを着用してください。
- 取扱後は手洗いおよびうがいを行い、作業着に付着した汚れをよく落とすしてください。
- よくふたをして直射日光を避け、5℃以上40℃以下の安全でかつ子どもの手が届かない一定の場所に保管してください。
- 容器は中身を使い切ってから廃棄してください。
- 指定された以外の製品と混合しないでください。
- 廃棄の際は関係法規に従って産業廃棄物処理業者に委託し処理してください。
- 安全データシート(SDS)をよく読んで取り扱ってください。

【施工後の安全性についての注意】

- 本製品群は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引き渡しの際は、施主に対して安全性に十分に注意を払うようご指導ください。
- 不特定多数の方が利用する施設を施工した場合は、ベンキ塗りたてであるなどの立看板等を設置し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接する事のないようにご配慮願います。

ロックペイント 株式会社

東京営業部 〒136-0076 東京都江東区南砂2-37-2
TEL(03)3640-6000 FAX(03)3640-9000
札幌営業部 〒003-0011 札幌市白石区中央一条4-3-48
TEL(011)812-2761 FAX(011)812-9304
仙台営業部 〒983-0044 仙台市宮城野区宮千代2-311 遼正ビル201
TEL(022)349-8677 FAX(022)283-3255
西関東営業部 〒252-0131 神奈川県相模原市緑区西橋本1-15-16
TEL(042)700-3111 FAX(042)700-3112

大阪営業部 〒555-0033 大阪市西淀川区姫島3-1-47
TEL(06)6473-1650 FAX(06)6473-1000
名古屋営業部 〒454-0059 名古屋市中川区福川町1-1
TEL(052)351-6500 FAX(052)361-7433
岡山営業部 〒701-1134 岡山市北区三和1000番34
TEL(086)294-1201 FAX(086)294-6966
福岡営業部 〒811-0119 福岡県糟屋郡新宮町浜3-2-1
TEL(092)962-0661 FAX(092)963-1241

URL <https://www.rockpaint.co.jp>



● 本カタログの内容については、予告なく変更する場合がありますのであらかじめご了承ください。また記載内容について、法律で認められる範囲を超えての転載・複製を禁止します。

販売店

2023.4.20000.246N (BUL-M15)